

# 農業

平成27年9月号  
会誌 No. 1603



## 目次

### 巻頭言

農業農村の振興に果たす市町村の力……………太田 信介 3  
～自ら考え行動する職員の育成に向けて～

### 論 壇

専門的な知識や技術は要らない草取りだが、  
でも必要な科学技術の力……………小川 奎 4

### 農業懇話会

平成26年度 食料・農業・農村白書について……………八百屋市男 6  
講演…………… 6  
質疑応答…………… 16

### 先進的農業経営研究会

近畿地域の大規模水田作経営の事例…………… 21  
－わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第6回会合）－  
話題提供  
ICTを活用した農業経営……………（有）フクハラファーム 福原 昭一 21  
－地域農業の発展を目指して－  
「農業で地域を元気に！」……………（有）夢前夢工房 衣笠 愛之 27  
～6次化と特産づくり～ 農の新たな経営モデル  
質疑応答・意見交換…………… 31

研究の最前線

飼料用水稲品種開発の現状……………石井 卓朗 48

農業・農村の現場から

玄米食用新品種「金のいぶき」による攻めの稲作……………永野 邦明 55

世界の農業は今

東アフリカの穀物栽培における根寄生雑草の生態と防除……………伊藤 一幸 61

私の経営と志

リンゴ道……………会津 宏樹 68

統計情報

平成27年産水稻の8月15日現在における作柄概況…………… 70

農政情報

大日本農会だより…………… 72

ミニ情報

「1世帯当たり年平均1か月間の消費支出とエンゲル係数」…………… 60

表紙写真説明

水稻のコンバイン収穫（三重県津市安東町）

三重県津市は県の中央部に位置し、面積は約71,000haで、西には布引山系の山々が連なり、この山系に源を発する雲出川および安濃川の下流部一帯は、伊勢平野の肥沃な穀倉地帯を形成している。

津市の農業経営面積は8,540haで、うち水田が6,710haで、耕地面積の78.6%を占め、第1次産業就業者数は3,524人で、10年前の68%となっており（平成22年度センサス）、このような就業者の減少や高齢化は耕作放棄地の拡大の要因となり、耕地面積の9.7%に当たる829haの農地が耕作放棄地となっている（面積データは第61次東海農林水産統計年報平成25～26年）。

今後、地域の高齢化はさらに進むことが予想されることから、本誌平成27年1月号に紹介された津市安東町の前川正次氏・洋子氏は（株）前川農産を設立（平成20年11月）し、「自分の集落の農地は自分が守る」という意気込みで大規模な稲・麦・大豆作経営を展開しており、8月下旬～9月中旬は約50haに及ぶ水稻の収穫時期で、最も忙しい時期を迎える。

（写真提供：三重県津農林水産事務所津地域農業改良普及センター）